

沖縄総合事務局開発建設部建設コンサルタント業務（営繕関係）審査委員会
議事概要

開催日及び場所	平成22年11月11日（木） 4階 事業審査室	
委員	委員長 山田 義智（琉球大学工学部環境建設工学科教授） 委員 志村 恵一郎（沖縄県土木建築部施設建築課長）	
対象事案	総件数 1 件	（備考）
公募型プロポーザル方式	1 件	
簡易公募型プロポーザル方式	件	
簡易公募型に準じたプロポーザル方式	件	
標準プロポーザル方式	件	
公募型総合評価落札方式	件	
簡易公募型総合評価落札方式	件	
簡易公募型に準じた総合評価落札方式	件	
	意見・質問	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
委員による審議結果の内容	上記について、技術提案の審査及び評価の説明を行い原案通り了承された。	

(別紙)

意見・質問	回 答
<p>1. 公募型プロポーザル方式</p> <p>1) 新石垣航空基地設計業務</p> <p>参加が2社というのはどう考えているか。参加が少ないことに対し何が原因か分析を行っているか。</p> <p>客観点数ではほとんど差はなかったが、業務の実施方針や手法での評価で決まったのか。</p> <p>1社においてはC P Dに関する評価点がゼロとなっているが、C P D制度についてどの程度認知されているのか。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 同種及び類似業務の実績の有無について、検索・確認を行い、参加資料も2社がダウンロードしており、それ相当の参加が見込まれたが、予想を下回る結果となった。今回、空港施設ということもあり、これまでの実績が豊富な社が参加したと考えられる。・ 提出された資料及びヒアリング時の応答内容をもとに総合的に評価し、このような結果となった。・ C P Dの取得実績を評価対象項目として沖縄総合事務局の官庁営繕事業(業務)に導入したのは平成21年度からであり、業界においては、以前よりC P D制度を創設し取り組んでいることから本制度については認知されているものと考えている。